

# 小野谷獅子舞【おのだにししまい】



開催場所

嘉麻市小野谷  
高木神社 境内

開催日

1月1日  
4月15日に近い日曜日 春の祭典  
9月9日に近い日曜日 秋の祭典

## 【芸能の概要】

小野谷獅子舞は筑穂町大分八幡宮の獅子舞から派生したもので、雄雌一对の獅子が五穀豊穡や厄除け等を願い、元旦に神社で舞われる。

## 【芸能の特徴】

第二次大戦中に一時中断していたが、戦後の昭和25年～26年に、大分八幡宮獅子組（筑穂町）の指導を受けて復興。昭和32年～33年までは盛んに舞われていたが、その後は後継者不足のため休止した。昭和56年に現在の保存会が発足した。小野谷は信仰にあつく、神社の春秋、元旦の祭典はもちろん、獅子舞においても行政区が取り仕切っている。

小野谷獅子舞の由来は定かではないが、江戸時代中期の1824（享保9）年、8代将軍吉宗公の時代には奉納されていたと推定される。大分八幡宮（筑穂町）の獅子舞から派生したことからその流れをくんでおり、五穀豊穡、無病息災を願って正月元旦に高木神社で奉納される。第二次大戦中に一時中断したが、昭和25年から26年には復興した。昭和56年には区が主体となり、現在の保存会が発足した。

「神楽」は熟年期の舞として、その重厚さから境内で舞うものとされ「納め」は老いた雄獅子と雌獅子が連れ添い互いに見返り寄り添いながら神社拝殿の奥深く昇り行く姿こそ、永い人生を生き抜いて夫婦添い遂げる幸福を神にこい願った芸人達の願いが偲ばれる舞いといわれている。

## 【使用する祭具・道具など】

太鼓は神楽太鼓を使用。清道（昭和32年、小野谷区）の旗は、御神幸の時先導するもの。

## ・アクセス

西鉄バス宮野バス停より徒歩3分  
嘉穂町役場より車で10分

## ・周辺の観光

益富城自然公園、古処山キャンプ村、  
馬見山キャンプ村「遊人の杜」、嘉穂町総合運動公園  
遠賀川源流の若水取り（1月）  
九州りんご村花まつり（4月）  
ふれあいまつり嘉穂（11月）  
嘉穂リバーサイドロードレース（11月）

## ・近くの特産品

米・果物・野菜

